

# 齋藤茂樹の 北関東巡り



令和5年(2023) 3月18日

## 19

これまでに紹介した北関東の桜名所の続きをご紹介します。以前撮りためてあった群馬県と栃木県の桜の様子に合わせて上毛かるたも並べてみました。

### 群馬の桜名所と上毛かるた

『上毛かるた』は、昭和22年(1947)12月に誕生しました。当時は、敗戦直後で、人びとは悲しみや無力感であふれていました。そのような状況を憂え、子どもたちが明るさを取り戻し、楽しく遊べるものは作ろうという想いが『上毛かるた』を生まれました。読札は公募で集められた題材から選び、絵札は小見辰男氏が描いています。昭和43年(1968)本人の要望により全札が新たに描きかえられました。『上毛かるた』は、今では群馬県の文化として位置づけられています。

#### もりんじ 館林の茂林寺

もりんじ  
茂林寺は、群馬県館林市にある曹洞宗の寺です。  
分福茶釜で有名です。寺が所蔵する分福茶釜は



茂林寺



見学ができますし、また、日本各地の狸にまつわるグッズや狸の剥製がたくさん展示されていて、境内の至る所に信楽焼の狸も置いてあります。

分福茶釜には、お伽話の「ぶんぶく茶釜」と伝説としての「分福茶釜伝説」の二通りがあります。

### 太田の大光院(呑龍様)<sup>どんりゅう</sup>

群馬県太田市の<sup>だいこういん</sup>大光院は、徳川家康が一族の繁栄と先祖の新田義重の供養のためにこの寺を建て、<sup>どんりゅう</sup>呑龍上人を招きました、上人は不幸な子供を弟子として引き取り育てたので子育て呑龍と呼ばれました。寺も呑龍様と呼ばれています。



お  
子育て呑龍  
おたかなやま  
太田金山  
こそだてどんりゅう



大光院(呑龍様)

### 前橋の臨江閣とグリーンドーム前橋<sup>りんこうかく</sup>

前橋市の<sup>りんこうかく</sup>臨江閣は、明治17年に当時の群馬<sup>かとりもとひこ</sup>県令楢取素彦が募金により建てた迎賓館で明治天皇、大正天皇も滞在しました。



け  
生糸の市  
けんともえげし  
県都前橋  
いとまち



前橋臨江閣



グリーンドーム前橋

グリーンドーム前橋は、多目的競技場です。競輪のほか各種イベントが行われます。

## 伊勢崎の華蔵寺公園

筆者の実家がある伊勢崎市の華蔵寺公園は、市内で一番の桜の名所です。

## 高崎の白衣観音



伊勢崎華蔵寺公園



高崎白衣大観音

高崎白衣大観音は、高崎市のシンボルとして観音山の山頂、標高190mのところであり、最上階からは高崎市街地や群馬県の主な山々、さらには八ヶ岳まで一望できます。

多くの県民は、白衣「びゃくい」観音と呼び、「びゃくえ」の呼び名を使う人は少ないようです。高崎市のシンボルで高崎市を見おろしています。地元の井上保三郎が昭和11年に建てました。田中角栄元首相は若い時この観音様の原型を運んだとのこと。

『上毛かるた』では「びゃくいかなのん」と振り仮名があるので、その影響でしょうか。



## しもつげのくに 下野国(栃木)の桜名所

### しもつげやくよけたいし 下野厄除 大師

華蔵寺けぞうじという真言宗のお寺は下野厄除大師と呼ばれていて、月ごとの季節に合ったデザインの御朱印を楽しみに毎月立ち寄っています。栃木県下野市にある鎌倉時代から続く歴史ある寺です。隣に児山城という城跡（殿様のお屋敷）があり、ここをひと回りするのも好きです。

この寺は、ペット供養や樹木葬なども取り入れており、ネコの保護活動に取り組んでいます。保護ネコがたくさん暮らす「にゃんにゃん堂」があります。なぜお寺でネコかというと、その昔、中国より経典を船で運ぶ際、ネズミから経典を守るためにネコを連れて行ったということから、仏教とは縁のある生き物とされています。



下野厄除大師

### しもつげ 下野 国分寺跡

下野国分寺跡は、栃木県下野市にある古代寺院跡、国の史跡に指定されています。

一帯には栃木県内最大級の前方後円墳である吾妻古墳・琵琶塚古墳・摩利支天塚古墳が残っています。現在は下野市天平の丘公園として整備されており、公園には日本三大桜（神代桜・淡墨桜・三春滝桜）と石割桜の子孫樹や各種ヤエザクラなどの多品種が植えられています。遅咲きの八重桜で4月下旬まで楽しめます。

資料館も充実していて、長すぎず短すぎずちょうど良い長さのわかりやすい映像で奈良時代この地が栄えたことを教えてくれます。下毛野古麻呂しもつげのこまろという、藤原ふじわら不比等のふひととともに大宝律令を作った人の出身地だった影響が大変強かったということでした。



下野国分寺跡

### しもつげ 下野薬師寺跡

奈良時代、お坊さんの資格を得られる場所は、下野薬師寺と奈良の東大寺と福岡の観世音寺の三ヶ所だけでした。これらは三戒壇と呼ばれます。平安時代に比叡山にも戒壇かいだん※ができ、ここは衰退しその後少し勢いを盛り返した時もありますが戦国時代に消失しました。



下野薬師寺

今は発掘や整備が行われ、資料館（歴史館）もでき、ご住職が大変親切な方でとても好きな場所です。日本の戒壇制度を確立した鑑真の像が境内の六角堂（戒壇があった所）に数年前に祀られました。

※ 戒壇とは、仏教用語で、戒律を授ける（授戒）ための場所を指す。戒壇は戒律を受けるための結界が常に整った場所であり、授戒を受けることで出家者が正式な僧尼として認められることになる。

### 〔 齋藤茂樹の北関東巡り バックナンバー 〕

	#1 鎌倉殿の13人		#11 慈覚大師 円仁
	#2 紅葉の群馬県		#12 バレンタインチョコ
	#3 栃木、埼玉の名所		#13 梅の名所 愛知・京都
	#4 栃木、群馬県庁		#14 梅の名所 栃木・群馬
	#5 全国御守り特集		#15 早咲きの河津桜
	#6 世良田東照宮・家康		#16 シアトルの花見
	#7 栃木・益子の陶器		#17 宇都宮市民合唱祭
	#8 奥の細道むすびの地		#18 桜の名所 愛知・兵庫
	#9 古鎌倉街道		
	#10 新田義貞 上毛かるた		

[Back](#)

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

[Home](#)

「ホームページ」表紙へ戻る